

タバコの育苗ポット全量施肥体系の確立

福島県たばこ試験場

平成13年度試験成績概要

1 部門名

特用作物—タバコ—育苗・施肥法・作業技術

分類コード 06—01—06132900

2 担当者

二階堂英行

3 要旨

タバコの育苗ポット内に、生育に必要とする窒素分を肥効調節型肥料で全量施肥し、ほ場への施肥作業の省力化、局所施肥及び溶出期間の選択による施肥効率の向上と環境負荷軽減を目指し試験を行った。供試ポットは、25穴ビニポット及び生分解性エコパームポット(25穴相当)、供試肥料はLPコートS60、施肥量は窒素成分で1.4kg/a、1.0kg/a(慣行育苗区は1.8kg/a、1.4kg/a)とした。LPコートS60施肥区は育苗中の追肥を行わなかった。

- (1) 移植苗の生育は、ポット内施肥区に比べ慣行育苗区が勝った。ポット内施肥区では、施肥量が多いと生育が抑制された。
- (2) 移植適苗の割合は、慣行育苗、ポット施肥(ビニポット)、ポット施肥(エコパームポット)の順に多かった。ポット内施肥区では、施肥量の少ない区で適苗が多い傾向にあった。
- (3) 根鉢形成の割合は、慣行育苗、ポット施肥(ビニポット)、ポット施肥(エコパームポット)の順に良い傾向にあった。ポット内施肥量の少ない区は施肥量の多い区に比べ、根鉢形成割合が高い傾向を示したが、窒素成分1.0kg/aにおいても、25穴ビニポットで55%及びエコパームポットで35%であった。エコパームポットを用いることで、肥料こぼれの少ない移植作業が可能となるが、根鉢形成がビニポットより劣ることがわかった。
- (4) 移植後の生育は、慣行育苗区、ポット施肥(ビニポット)、ポット施肥(エコパームポット)の順に生育がよかった。
- (5) 収量は、慣行育苗区、ポット施肥(ビニポット)、ポット施肥(エコパームポット)の順に多い傾向にあった。また、有意な差ではないが、ポット内施肥量の多い区で収量が多い傾向にあり、窒素成分1.4kg/aのビニポットとエコパームポットで、10a当たり収量は256.8kgと240.7kg、kg当たり単価は1,784円と1,846円であった。この値は、対照区と比べると41.9～58kgの収量減となるが、本年の県内収量(10a当たり収量は253kg、kg当たり単価は1,759円)に近い値を示した。

4 その他の資料等

なし